

令和5年度 第1回 新宿区移動等円滑化促進方針推進協議会  
議事要旨

日 時：令和5年8月9日（水）10：00～11：30

場 所：新宿区役所本庁舎 5階 大会議室

出席者：【委員】

中央大学教授 秋山 哲男（会長）

日本大学准教授 江守 央（副会長）

丹羽 太一

小沢 隆

新谷 友良

馬場 雄一

亀山 恵

高田 正利

鶴巻 祐子

鈴木 神成

窪川 達二

国土交通省 関東運輸局 交通政策部バリアフリー推進課長（代理）

東京都 都市整備局 都市基盤部交通政策担当課長（代理）

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所交通対策課建設専門官（代理）

東京都 第三建設事務所補修課長

東京地下鉄株式会社 鉄道統括部 計画課 移動円滑化設備整備促進担当課長

東日本旅客鉄道株式会社首都圏本部企画総務部経営戦略ユニットチーフマネージャー

東京都交通局建設工務部計画担当課長

西武鉄道株式会社鉄道本部計画管理部駅まち創造課長

小田急電鉄株式会社交通企画部課長

京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長（代理）

一般社団法人東京バス協会 専務理事

一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会新宿支部 支部長（代理）

公益財団法人東京タクシーセンター指導部施設関係首席（代理）

新宿サブナード(株)総務部調整担当部長

警視庁 交通部交通規制課 都市交通管理室長（代理）

新宿警察署交通課長

牛込警察署交通課長（代理）

四谷警察署交通課長（代理）

福祉部長

子ども家庭部長

みどり土木部長

都市計画部長

【議事説明者】

新宿区 みどり土木部 道路課長

**【事務局】**

新宿区 都市計画部都市計画課長

新宿区 都市計画部都市計画課 都市施設係長

新宿区 都市計画部都市計画課 都市施設係 清水

**欠席者：【委員】**

根本 綾子

株式会社三越伊勢丹 伊勢丹新宿本店総務事業部渉外次長

戸塚警察署交通課長

**[議事]**

開会

- 1 施設管理者等へのバリアフリー施策の照会について
- 2 令和5年度「バリアフリーの道づくり」事業について
- 3 その他
  - ①新宿区移動等円滑化促進方針の周知啓発について
  - ②令和3、4年度新宿区内のバリアフリー整備等実績の報告について

閉会

**[内容]**

○施設管理者等へのバリアフリー施策の照会について

事務局より、新宿区移動等円滑化促進方針に基づく施設管理者等の取組について、今後の予定やこれまでの取組の実施状況の確認を行うため照会内容について説明。

**【主なご意見】**

**【秋山会長】**

バリアフリーの取り組みについて、課題を整理して役所にアンケートの回答を提出してほしい。

○令和5年度「バリアフリーの道づくり」事業について

道路課長より、取組の概要について説明。

**【主なご意見】**

**【秋山会長】**

意見交換会は事業区間を歩きながら確認するのか。事前説明をした上で歩くということか。

**【道路課長】**

事前に現地で簡単な説明を行う。昨年度は、想定される整備内容などを示しながら、現地を歩いた。まちあるき後、会場にて、再度意見交換を行って取りまとめをする流れを検討している。

**【秋山会長】**

バリアフリー以外に自転車に関する問題について加えて議論してほしい。

【小沢委員】

私達が日常でよく利用する西早稲田、早稲田、若松河田の3駅周辺においては視覚障害者誘導用ブロックがあるためぶつからないで歩きやすくなる。他の町など誘導用ブロックが無いとぶつかることもあるので、今後も続けてほしい。

【江守副会長】

今後も積極的に参加者との意見交換を行ってほしい。道路と道路の接続性について十分に考慮して設計してほしい。また、ゲリラ豪雨など災害との兼ね合いも踏まえ、今後は総合的に考えて設計・工事することも検討してほしい。来年度以降はパーソナルモビリティなどを踏まえた観点を追加する必要があるかもしれないため、移動手段を総合的に検討して行ってほしい。

【秋山会長】

私としては道路と沿道施設との関係も併せて考える必要があると考える。

○その他（①新宿区移動等円滑化促進方針の周知啓発について）

事務局より、取組の概要について説明。

**主なご意見**

【小沢委員】

バザールへの参加は、12月に行われる新宿駅の西口広場で行うものか。

【事務局 清水】

はい。

【小沢委員】

私自身も過去に封筒を作成、販売をしていた。品物を売ってというのが主体のイベントと把握している。バリアフリーに関係するものを展示するコーナーがあるのか。

【事務局 清水】

パネル展示を行っているブースがあり、その中の一角に促進方針をまとめたパネルを展示している。また、今年度はパネル展示だけでなく意見箱を設置し、イベント後、事務局にて意見を回収する予定である。

○その他（②令和3、4年度新宿区内のバリアフリー整備等実績の報告について）

**主なご意見**

【小沢委員】

東京地下鉄に関してホームドア整備が落合駅以外の駅で完了しており助かっている。

□議事以外の話題

(1)タクシーのバリアフリーについて

**主なご意見**

【丹羽委員】

バス、鉄道はバリアフリー化について取組んでいるが、タクシーについては、乗車拒否などされることがあるため、研修など努めてほしい。

【秋山会長】

関係機関に現状での教育プログラムについて伺いたい。

【東京ハイヤー・タクシー協会】

UD タクシー導入当初より力をいれており、スロープの指導・訓練は推進・徹底しているが、最終的には乗務員各々の対応になってしまう。運転手が乗せたくないという意思を利用者に感じさせてならない。今後は、接客に対する心持ちなども併せて指導を行っていく。

**【東京タクシーセンター】**

タクシーセンターでは、タクシードライバーになるために4日間の教育をしており、その中で1日UDの研修を行っている。講習では車椅子の取り扱い、盲導犬の取り扱い、ジェンダーの方の対応など多くのことを伝えている。

**【秋山会長】**

UD研修の一日のプログラムにて、車いすの操作についてはどのぐらいの時間を割いているのか。又当事者の意見を聞いたプログラムなのか。

**【東京タクシーセンター】**

車椅子について数年前は2時間程度、職員が資格をとったうえで教育している。当事者は参加していない。

**【秋山会長】**

接遇というのは介助の技術だけでなく、尊厳を持って接する必要がある。エコモ財団は、バス・タクシー・鉄道などの2日間の研修を当事者参加型で行っている。教育する人たちはそこに参加するべきである。足りないところをこれからどうやって埋めていくか考えていこう。

**【新谷委員】**

私たちが日常的にタクシー利用で困難を抱えているのはドライバーの方とのコミュニケーションについてである。現在、ほとんどタクシー運転手は筆談対応を行う。しかし走行中になると筆談でなく声で質問するため、道を間違えることなどが日常的にある。どのような講習を行っているのか確認したい。

**【東京ハイヤー・タクシー協会】**

筆談用の紙は、タクシー協会の方からも各社に配布と設置は行っているが、それだけでなく、もう少し行き届いた配慮を考えていく必要があると改めて考えさせられた。

**【東京タクシーセンター】**

ドライバーに映像見ていただいて、聴覚障害者のかたでこのような対応してくださいという、教育であった。様々な障害があるため、研修の中で全て教えることがなかなか難しい。基本的にはタクシードライバーになるための教育の中の一部である。

**【秋山会長】**

聴覚障害の場合コミュニケーションが重要であり、GPS（カーナビ）に電話番号、住所など入力して目的地を定めるだけでかなりの部分が達成できる。

**【小沢委員】**

ナビを扱える人と扱えない人がいるので教育を徹底してほしい。

(2)視覚障害者にとって必要なバリアフリー設備の整備について

**【主なご意見】**

**【小沢委員】**

できるだけ早く新宿駅のホームドアを付けて欲しい。シグナルエイドを通じて信号機や横断歩道の位置、バスの停留所案内をしてくれるシステム作ってほしい。

### (3)情報のバリアフリーについて

#### **主なご意見**

##### **【新谷委員】**

移動と情報の両輪で取り組んでほしい。移動については以前より進んできたが、情報の取り組みが遅れている。是非、併せて進めてほしい。また、具体的なことについて意見は言えるが抽象的なものになると意見することが難しい。

##### **【秋山会長】**

まだまだ情報に関する取組が不十分な状態になっている。本日の当事者委員の意見をまとめると、情報がかなり阻害要因になっていると感じた。行政として取り組まなければならない事であり、ここ数年の課題と認識している。そういう視点を入れてバリアフリーを考えてほしい。

##### **【事務局 金子都市計画課長】**

新宿区移動等円滑化促進方針では心のバリアフリー情報のやり取り、手話、筆談なども全て網羅した形にはなっております。ただ、レベル感という点でまだ項目だしの段階であるので、こういった機会ですさまざまな意見をきいて、今後工夫してステップアップして行きたいと考えている。

### (4)鉄道駅の無人駅化について

#### **主なご意見**

##### **【小沢委員】**

最近、東新宿駅、西早稲田駅が無人駅化になっていた。

職員が不足しているのはわかるが、昼間だけでも駅員を一人おいてほしい。特に、西早稲田駅は視覚障害者施設などがある。この無人駅化は視覚障害だけでなく、ほかの障害の場合でも何かあった際なかなか駅員がこない状態になってしまうことが考えられる。今後無人駅化を会社として進めていく予定なのか？

##### **【篠原委員】**

駅員がいない場合の対応について、調べて、回答する。また、今後無人駅化を進めていくかどうかについても後日調べて回答する。※

##### **【秋山会長】**

無人駅化で起こりうる問題の解決策を事前に検討することが重要である。関西では“スルッと KANSAI”などの取組がある。無人駅化、自動化に対応した障害者対策も考えておくと、小沢さんが言った問題をクリアできるかもしれない。ぜひそういった解決方法の検討について頑張してほしい。

※協議会后、東京地下鉄株式会社より、無人駅化に関する質問に対して以下のとおり回答があった。

質問：スムーズに障がい者割引の切符が購入できるよう、きっぷうりばに駅係員を配置してほしい。

回答：いつも東京メトロをご利用いただきありがとうございます。改札の無配置化に伴い、対面によるご案内が必要な際には、駅事務室から可能な限り速やかに駅社員が赴く対応としておりますが、ご利用時間帯や駅の状況により、お待ちいただく場合がございますことをご理解いただければ幸いです。なお、本年3月から「障がい者用PASMO」の販売を開始しており、こちらは自動改札機にて割引運賃を自動精算してご利用いただけます。なお、新規のPASMOの発売を休止しているところでございますが、「障がい者用PASMO」は引き続き購入いただけます。

質疑：今後もきっぷうりばの無人化を進める計画はあるのか。

回答：改札への駅社員の配置につきましては、これまでもお客様のご利用状況を踏まえながら見直しを行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症によるお客様の生活様式の変化や、生産年齢人口の減少等の厳しい経営環境をふまえ、事業運営の持続性の向上を目的とした一部改札における駅社員の無配置化を実施しているところでございます。今後の対応については、お客様のご利用状況や経営環境等を踏まえ、検討してまいります。